

千年の森便り No.255

2025.4.30

ちば千年の森をつくる会

<http://toyofusajima.html.xdomain.jp/>

代表 福島成樹

sennennomori@hotmail.co.jp

活動の記録

3月16日(日) 天候 雨

朝から1日雨の予報となり定例活動は中止としましたが、センサーカメラのデータ回収のために臨時活動を行いました。短時間でしたが植物観察も行いましたので写真を掲載します。(福島)



コショウノキは満開でした



ヒメフタバランもちょうど開花していました(右は人差し指と比較)



湖岸のスハマソウ



シュンラン



ヒガンマムシグサ



雨の豊英湖

4月20日(日) 天候 曇り

年度初めの活動日、事前の天気予報は雨でしたが、活動日が近づくにつれて曇りの予報に変わり、当日は雨に降られることなく定時総会と、新緑の中で植物観察を行うことができました。

今回の植物観察では、ユウシュンランが新たな場所で確認されました。落ち葉の中から非常に小さいランを発見した大原さんの眼力に脱帽です！

参加者は、秋元、伊藤、鶴沢、大原、苅米、清水、福島、村野の会員8名でした。

苅米さんからは、キンカンと新玉ねぎをいただきました。ありがとうございました。



次回、5月18日(日)の活動日は、公開行事として清和県民の森ハイキングを行う予定です。ハイキングの案内と事前に島で準備をするスタッフが必要となりますので、会員の皆様のご参加をよろしくお願いします。(福島)

〇定時総会

ちば千年の森をつくる会規約に基づき年度初めの定時総会を開催しました。議案は、2024年度の活動報告、会計報告及び会計監査報告、2025年度の活動計画案、予算計画案、役員改選についての5議案です。2025年度の新たな取り組みとしては、(一財)セブン-イレブン記念財団の助成金を活用して、イノシシに対応した植生

保護柵の設置とセンサーカメラを使った効果の確認を行うこととしました。また、今年度も新たな方向性を見出す活動に積極的に取り組んでいくことで活動案が承認されました。役員改選については幹事の数減らすことが承認され、すべての議案が承認されて定時総会を終えることができました。(福島)

○トビの抱卵

私が入会した時、島内の案内で「この巣はトビの巣なんですよ。」との説明を受けたのを憶えています。それ以来2年が経ちましたがトビは巣に戻ってきませんでした。てっきり巣は放棄されたのかな？と思っていました。

そして今日、総会後の休憩時に島内を散歩していたらいきなりトビが飛び立つ音がしたので、巣の方に目を向けたら重なり合った枝の向こうに卵らしきモノが1個見えました。トビが久しぶりに営巣しているのを確認しました。そういえば、総会をやっている最中、2羽のトビがしきりに鳴きながら飛び交っていましたが、いま思うと番（つがい）だったようです。

トビの繁殖期は4～5月で2～3個の卵を産むそうです。卵は2日おきに産むようなので私が見たのは最初の1個目のようです。今回、思わぬ遭遇で親鳥を驚かせてしまいました。これで親鳥が神経質になって抱卵の放棄などをしなければ良いのですが・・・。

トビの抱卵日数はおよそ30日間といわれているので、来月の活動日前後に雛が誕生するかも知れません。引き続き巣の周辺は立ち入らないように気を付けて活動しましょう。(清水)



トビの巣に卵を確認

○若葉溢れる島へ

サクラの時期に来ることは出来ませんでした。今回は新緑の豊英島にわくわく心弾ませてつり橋に立ちました。つり橋の左手にはツガとウリカエデの花が咲き、正面の豊英島に続くつり橋は赤茶けた錆色をしていて曇った森への謎めいた入り口のようにありました。上空ではトビが4、5羽鳴きながら旋回していて、いつもとはちょっと違った雰囲気にも五感が刺激されました。つり橋の着岸箇所には、よく目立つ白色のマルバアオダモ、コバノガマズミの花、エンコウカエデの淡い黄緑色の花が咲いていました。

総会終了後に島の北側の観察に行きました。昨年見ることのできなかったユウシュンランは、昨年と同じ場所には見当たりませんが、ホコラ山方向に数10m進んだ場所で『見つけた!』という大原さんの声を聞き、急いで発見場所に向かいました。

そこには10cm程度の小さな株が数株ありました。花はどの株にも1、2個ついていました。まだ、開花して間もないのか、わずかに茶褐色の唇弁を見ることができました。大きく開いた花ではありませんでしたが見るのができて良かったです。



森への謎めいた入り口



ツガの雌花



ウリカエデ



マルバアオダモ



コバノガマズミ



エンコウカエデ



ユウシュンラン



この付近からホコラ山までの間には、エビネ、ニガイチゴ、フモトスミレ、ウグイスカグラの花、実をつけたコショウノキを見ることができました。また、風のせいなのかホオノキの新芽が落ちていました。

昼食後、コナラ伐採地に入りました。鮮やかな黄色のヤマブキは昨年より株数が増えているようです。チゴユリも低木の刈り払いによって遮る物のない草地でしっかりと咲いていました。植生保護柵のネットにオオバウマノスズクサが蕾をつけた状態でからんでいました。消えていくものや新しく侵入してくるものがあり、この草地区域は楽しみを倍増してくれます。キヨスミギボウシ、リンドウ、オケラ、コウヤボウキ等も確認できました。それぞれの花期が楽しみです。

その後、ほてい岬方面へ向かい鮮やかに咲き誇る大きなミツバツツジとダム湖に面した崖で湖面に枝を張り出して咲いているミツバツツジを確認しました。どちらも濁りのない鮮やかな色合いでした。

例年より観察できた花が多かったように思います。最近の気候変動が影響したのでしょうか。多種の花を見ることができ最高の一日を過ごすことができました。(秋元)



エビネ



ニガイチゴ



フモトスミレ



ウグイスカグラ



コショウノキ (実)



ホオノキの新芽



ヤマブキ



チゴユリ



オオバウマノスズクサのつぼみ



ツクバネウツギ



キラソウ



ミツバツツジ



カンアオイ



季節はずれのナラタケ

○センサーカメラの動物たち

2月16日から3月16日までの29日間の記録

いつも記録が多いCAM1は、キョンが29日のうち28日で記録があり、最大頭数は3頭でした。ほかにも、タヌキ(6日、最大頭数2頭)、テン(4日、同1頭)、キジ(3日、同1頭)、ハクビシン(1日、同2頭)、アナグマ(1日、同3頭)などが確認できました。

CAM2は、記録が少なくキョン(2日、同1頭)、ハクビシン(1日、同3頭)、ヤマガラ(1日、同1羽)だけで、3月3日以降は記録がなく途中で電池が切れたようでした。

CAM3は今回から設置位置を変更したところ、キョン(3日、同2頭)、タヌキ(1日、同1頭)のほかにオシドリが3月2日～9日にかけて5日、最大約35羽が記録されました。オシドリは、ホテイ岬の林内を群れて移動しながら採餌していました。

- ・ 設置期間：2月16日～3月16日(29日間)
- ・ 設置場所：CAM1(つり橋着岸点付近)、CAM2(ホテイ岬への分岐点付近)、CAM3(ホテイ岬中央付近)
- ・ 日数は記録された日数で、同じ日に複数回記録されても1日としています。

CAM1 キョン 28 日、タヌキ 6 日、テン 4 日、キジ 3 日、ハクビシン 1 日、アナグマ 1 日、ネコ 1 日、
キジバト 1 日

CAM2 キョン 2 日、ハクビシン 1 日、ヤマガラ 1 日（途中で電池切れ）

CAM3 キョン 3 日、タヌキ 1 日、オシドリ 5 日

3 月 16 日から 4 月 20 日までの 36 日間の記録

CAM1 は前の月に続いて記録が多く、キョンが 36 日のうち 28 日で記録があり、最大頭数は 3 頭でした。ほかに、ハクビシン（6 日、同 2 頭）、シロハラ（3 日、同 1 羽）、テン（2 日、同 1 羽）、オシドリ（2 日、同 2 羽）、キジバト（2 日、同 1 羽）などの記録がありました。

CAM2 はカメラの不調で最初の 1 週間程度の記録のみで、キョン（4 日、同 2 頭）、アライグマ（1 日、同 1 頭）のみでした。

CAM3 は、キョン（9 日、最大頭数 3 頭）と、前の月に続けてオシドリが 5 日、同 14 羽記録されていました。2 月 16 日から 4 月 20 日までの期間で、ニホンジカ、イノシシの記録はありませんでした。

- ・ 設置期間：3 月 16 日～4 月 20 日（36 日間）
- ・ 設置場所：CAM1(つり橋着岸点付近)、CAM2(ホテイ岬への分岐点付近)、CAM3(ホテイ岬中央付近)
- ・ 日数は記録された日数で、同じ日に複数回記録されても 1 日としています。

CAM1 キョン 28 日、ハクビシン 6 日、シロハラ 3 日、テン 2 日、オシドリ 2 日、キジバト 2 日、
タヌキ 1 日、キジ 1 日、ネズミ類 1 日

CAM2 キョン 4 日、アライグマ 1 日（カメラ不調、途中で電池切れ？）

CAM3 キョン 9 日、オシドリ 5 日



キョン♂



アナグマ



キジ♂

（福島）

お知らせ

○次回の定例活動は 5 月 18 日（日）です

公開行事として、清和県民の森ハイキングを行います。ハイキングのスタッフと島で事前に準備をするスタッフが必要になりますので会員の皆様のご参加をよろしくお願いします。

集合場所と時間は、県民の森管理事務所下の駐車場に 9:20（参加者の集合時間は 9:30）の予定です。

熱中症対策と、島に入る際は、ヤマビル、ダニ対策、安全のためヘルメットの着用をお願いします。

○年間計画

定時総会で決定した年間計画を次ページに添付します。

2025 年度活動日程

活動日	主な活動	摘 要
4 月 20 日（日）	定時総会、個別活動（自由活動）	
5 月 18 日（日）	清和県民の森ハイキング	公開行事
6 月 15 日（日）	シカ調査、環境整備（水辺）、（危険木伐採） 駐車場・電柵付近の草刈り、刈り払い機操作体験	
7 月 21 日（月祝）	夏のきのご観察会（外部講師）	公開行事
8 月 17 日（日）	相対照度調査、ヒメコマツ下刈り、植生保護柵設置補修、 コナラ伐採地刈り払い（状況に応じて）、（危険木伐採）	
9 月 21 日（日）	シカ調査、環境整備（観察路、広場）、（危険木伐採） 駐車場・電柵付近の草刈り、刈り払い機操作体験	
<u>10 月 25 日（土）</u>	秋のきのご観察会（外部講師）	公開行事
11 月 16 日（日）	ホテイ岬地区整備、植生保護柵設置補修 チェーンソー操作体験、（危険木伐採）	
12 月 7 日（日）	シカ調査、紅葉散策、（危険木伐採） ロープワーク研修	紅葉時期
1 月 18 日（日）	植生保護柵設置補修、（危険木伐採） コナラ伐採地刈り払い（状況に応じて）	
2 月 15 日（日）	相対照度調査、植生保護柵設置補修、（危険木伐採）	
3 月 15 日（日）	シカ調査、ヒメコマツ測定補助 植生保護柵設置補修、（危険木伐採）	

原則として第 3 日曜日

7 月 21 日（月祝）：3 連休の最終日

7 月 21 日（月祝）、10 月 25 日（土）：きのご観察会で吹春講師、中島講師依頼

12 月 7 日（日）：紅葉に合わせて第 1 日曜日

植物・野鳥・昆虫・きのご調査等は、適宜実施する。